

キャラクター名
石鷲見 晶(いしずみ あきら)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	研究者
	ソラリス					
オプション	エグザイル		年齢	32	性別	女
覚醒	探求	衝動	自傷	初期侵食率	42	%
出自	義理の両親	経験	仲間の死	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	3	0	0			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:機械工学	4		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手		0		Lv+3(4)		ガード値5(マグネットコーティング込みで7)
○	白兵	7r+3				
○ 100↑	白兵	8r+3				+侵食率ボーナス
★ コスト6		0				HPダメージ算出直後、HPダメージ-8(9)D ラウンド1回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アーマースキン(防具※)		4			ダメージ適用直前、ダメージ-1d シーン1回

所持品	
思い出の一品	
ブランケット(カスタマイズアイテム)	
データブレイン(その他)	
マグネットコーティング	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
守護者	P	N		
コナー・ラトランド	P 幸福感	N 偏愛		
小波鮫 渚央樹	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
最大財産P:	8	残り財産P:		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果:								
貪欲なる拳	2	3	メジャー					
効果:	白兵の判定+Lv+1D							
デモンズウェブ	4	2	オート	10m	単体		80↑	
効果:	HPダメージ算出直後 対象が受ける(予定の)HPダメージを-[Lv+1]D点する							
サイバーアーム	1		常時					
効果:	素手データ変更							
サイバーレッグ	1		常時					
効果:	戦闘移動時離脱可能に							
ライトカスタム	1		常時					
効果:	肉体と感覚の判定+1d							
ハードワイヤード	3		常時					
効果:	アーマースキン、データブレイン、マグネットコーティング							
力の霊水	2	4	オート					
効果:	ダメージ直前、ダメージ+Lvd ラウンド1回							
異形の加護	1	4	オート					
効果:	“対象が受ける(予定の)HPダメージを-●点する”と書かれたエフェクトと同時に使用。そのエフェクトの効果に+3Dする。ラウンド1回(暴走中は制約無し)							
タッピング&オンエア	★							
効果:	ラジオ聞けるしラインできっから便利だぞ。							
快樂の香氣	★							
効果:	良い匂いで人集めしたりとか、まあ色々。							
擬態の仮面	★							
効果:	これなら傷跡とかもわかんねえだろ。							
電子使い	★							
効果:	USBメモリに何入ってるか触ればわかる。							

(NPC枠)

とあるUGNの研究所に勤めるUGNエージェントであり、レネゲイド関係の研究者。良くも悪くもマイペースな性格。機械化に伴うそこそこの体格と男勝りな言動と、加えて細かいことは気にしない性格が手強い、彼女を女性だと知る者はほぼ居ない。元から機械工学に造詣が深く、研究もそれに絡む事柄が多い。身体の各所を機械化しているのは実用と実験を兼ねているとか。

少し前まで務めていた研究所は、コードウェル博士の襲撃により壊滅している。彼女は、数少ない生き残りである。その際に仲間を庇い、右上半身と右目を失った。現在その箇所は全て機械化しており、髪で隠れた右目は紫の角膜を持つ義眼となっている。高性能カメラ機能付き。

他人が傷付くよりは自分が傷付いた方がいい、という思考を持つ。何故なら、自分の機械の身体は換えがきくからである。例えば誰かや何かを守った末に自分が命を落としたとしても、俺がそうしたかったから良いんだよ、とただ笑ってしまう。誰かの標になるのなら、礎となるのなら、守れるのなら、本人はそれで良いのである。例えそれで、悲しむ人がいようと。

それでも最近、昔に比べれば自身を省みない行動は減りつつある。自分が居なくなれば、路頭に迷ってしまう者が居ることを自覚したからだ。今の彼女は、果ての無い道を歩む先導の狼と伴に在る標の星である。

